

茨城県

育成会だより

第 140 号

発行日 令和2年3月10日
 発行 一般社団法人
 茨城県手をつなぐ育成会
 編集 広報委員会
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町1918
 茨城県総合福祉会館内
 ☎ 029-243-3838
 FAX 029-243-3854
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>
 e-mail iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



うきうきマイスターの
正面玄関



楽しい旅行のスナップ



笠間焼陶芸の展示



タオルのクリーニング作業中



食パンが人気！アップルアップル

(連絡先) 石岡市東石岡5-2-22

電話: 02900-26000・260000

以外の活動もいろいろと行っています。

主な活動内容としては、法人関連施設での
 山王台病院・介護老人保健施設あいあい・小規
 模多機能型居宅介護事業所たなごころ・特別
 養護老人ホームようよう・サービス付き高齢者
 向け住宅カーサフェリーチェ等で使用している
 タオルのクリーニング、およびベーカーリーアッ
 プルアップルでの接客等の仕事を行っていま
 す。その他、笠間焼陶芸家の方を講師にお招
 きしての陶芸、調理実習、余暇活動等、作業

性7名計27名の方が通所しております。
 また、昨年7月1日より共同生活援助(グルー
 プホーム)事業所「うきうきハウス」も開設い
 たしました。

医療法人幕内会が運営している「障がい者・
 人間・生活・労働・社会参加サポートセンター
 うきうきマイスター」は、石岡市の中心街に位
 置しており、定員30名の就労継続支援B型事
 業所を運営しております。現在男性20名、女

さまざまな活動を展開
 医療法人幕内会障がい者・人間・生活・労働・社会
 参加サポートセンター うきうきマイスター
 センター長 野口竜也

県育成会の臨時総会 開かれる

第1号～第3号議案を承認

県育成会の臨時総会が、1月29日（水）、予定より少し遅れた10時10分、水戸市の総合福祉会館で開かれました。44団体のうち書面を含め29名の出席数で定数を超え、総会は成立することが確認され、矢野会長のあいさつ後、規定により会長が議長となり、議事に入りました。当日の議決事項は第1号議案から第3議案まで。

第1号は「表彰規定の改定について」、第2号は「役員候補者の選出に関する規定の改正について」でした。いくつかの質疑応答ののち、2議案とも承認されました。

第3号議案「2019年（一社）茨城県手をつなぐ育成会法人会計支出予算の補正について」。本件は、支出の部の事業費・団体助成費（特別支援教育部への助成）に関して、当初予算額360千円から120千円増額して補正予算額を480千円に増額しようとするものです。この件について、県教育研究会特別支援教育研究部の貴達理事から背景説明があり、それに対し質疑応答が重ねられたのち、第3号議案も可決承認され、臨時総会が終了しました。

総会終了後、昼食をはさみ、5ブロック別の打ち合わせが行なわれたのち、散会しました。

（土浦市手をつなぐ育成会 渡辺 征）



矢野会長を中心とする討議

ナイスハートふれあいフェスティバル2019(一般の部)

障害者の福祉の向上と県民の障害者に対する理解と認識を深めることを目的として、障害者週間に合わせ、令和元年12月5日（木）から9日（月）の5日間にわたり、ザ・ヒロサワ・シティ会館（水戸市・県民文化センター）で、障害者による音楽やダンス等の発表、絵画や陶芸等の作品展示が開催されました。

12月7日（土）に大ホールで開催した発表会では、在宅・施設・一般団体の皆さんたち8団体173名が出演し、演奏やダンス、合唱などが披露されました。

12月5日（木）から9日（月）までの5日間で開催されたナイスハート美術展では、絵画、書道、写真、陶芸・工芸の4つの部門で、計436点の作品が展示されました。全体の作品の中から、知事賞（最優秀賞、優秀賞、特別賞）・茨城県身体障害者福祉団体連合会会長賞・茨城県心身障害者福祉協会会長賞・茨城県精神保健福祉会連合会会長賞に加えて、ナイスハート美術展へ来場した方々の投票による、来場者投票賞があり、合計34作品が選ばれました。

（茨城県障害者スポーツ・文化協会）



絵画・書道等4部門の展示



8団体173名による演奏やダンスを披露

「地域共生社会をめざして」 親亡き後も、好きな場所で暮らしたい

わたゆうじ
講師に綿祐二先生を招く

石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会会長 嶋田 みち子

令和元年12月4日、石岡市ひまわりの館において、地域育成会活性化のための研修等事業「地域共生社会をめざして」を開催しました。本事業は、全国手をつなぐ育成会連合会の事業の一つとして、近隣の育成会等の共催と石岡市および石岡市教育委員会の後援を頂き、当会が主催しました。参加者は地域育成会の会員だけでなく、特別支援学校保護者、行政関係者および地域のボランティアの方々等、多数でした。講師には日本福祉大学の綿祐二先生を招き、「親亡き後も、自分の好きな場所で暮らしたい」の題で講演頂きました。

綿先生からは、ご自身の社会福祉法人設立の経緯・経験に加えて、障害のある子のために親がやっておくべきことを分かりやすく講演頂きました。将来の経済的自立を見据えた障害支援区分や年金に関しても詳しくお話になりました。特に印象深かったのは、親亡き後の障害のある子の暮らしだけではなく、死なせ方についても親は考える必要があるとの話でした。その助けとして、「親心の記録ノート」が紹介されました。このノートは、後見人制度に関する県育成会の講演会で渡辺伸先生も紹介しており、その重要性を再認識しました。

具体的な内容を交えた綿先生のお話は大変面白く、講演はあっという間に終了しました。本事業をきっかけに、地域共生社会をめざして今後も活動していきたいと思えます。



熱弁を振るう綿講師



会場は百名を越えてびっしり

“ケアホーム西東京”を見学

土浦育成会から7名参加

土浦育成会では、県育成会で（全国的？）評価の高い綿祐二先生（睦月会経営・日本福祉大教授）経営施設の一つを見学しようということで、2月7日（金）、都下西東京市の「ケアホーム西東京」を訪問させていただいた。参加者は7名とやや少なめであったが、土浦から電車を乗り継いで11時に現地に着いた。すぐ担当者の案内で2階建ての施設を一通り見学したあと、質疑に移った。

7人から、基本的な質問や、自分の子どもを近いうちにグループホーム（GH）に入れたいという切実な立場からの質問などいろいろ出たが、現場の責任者橋本施設長から、わかりやすい、要を得た回答をいただいた。

私の感じた、このケアホームの最大の特徴は、一言でいえば、一人ひとりに合わせたカスタマイズ型（辞書によると、「特注で作る、使用者の好み〔必要〕に合わせて変更する」）であるという点にある。この種の新型ケアホーム（介護サービス包括型GH。橋本氏は「小型入所施設」という表現も使っていた）が、徐々にでもよい、今後各地に増えていくことを期待したい。

（土浦市手をつなぐ育成会 渡辺 征）

“綿祐ニワールド”^{とりこ} に137名が虜

— 県中ブロックで講演会を開く

ひたちなか市障害児者育成会会長 深谷 悦男



137名が耳を傾ける

県中ブロック懇談会を構成する10育成会の仲間と、講演会「障がい者のきょうだいがいる風景」を2月14日ひたちなか市のワークプラザ勝田で開催しました。

障がい者と健常者の思春期のきょうだいを抱えた保護者が、子育ての中で悩みを抱えているのではないか、少しでも精神的な負担を軽くする手助けができないかと考え、企画しました。講師を、人気が高く、障がい者

の親と兄弟を持ち福祉を実践しながら教鞭を執る、日本福祉大学教授で社会福祉法人睦月会理事長の綿祐二先生にお願いしました。

学齢期の子がいる保護者に是非聴講していただきたいとの思いから、県特別支援学校知的障害教育校長会の後援と「令和元年度地域育成会活性化のための研修等助成事業」の採択を受け、募集チラシ・ポスターを作成し、地域内の特別支援学校、特別支援学級に保護者への配布をお願いしました。募集定員150名のところあつという間に定員以上の申込みがあり、155名を受付け137名の当日参加となりました。

綿先生のお話は実に巧みで、聞く者を次第に引き込み、綿ワールドの虜^{とりこ}とします。『**健常者のきょうだいは、障害について家族から説明を受けたり学ぶわけではなく、日常生活の中で違いを理解し他者と比較し受容していく。自分の人生は自分で進み、障がい者のきょうだいを言い訳にしない。支援は社会的にも経済的にも自立してから。何かあった時のためと多額のお金を残す必要はなく、看取りに係る費用を残し生きているうちに使ってやる。障がい者の終の棲家をどうするか、身上監護、財産管理が重要である。親が亡くなればきょうだいの考えも変わることがあり、遺言を残しておくことも必要。**』等々、示唆に富んだ内容でした。5つの事前質問と1つの会場からの質問にも丁寧に答えられ、質問者・参加者も満足した様子でした。

講演会を契機に、会員でない方も育成会の活動に参加されることを願っております。



質問に答える綿先生

第2回本人交流会について

本人活動委員会委員長 清水 学

令和元年11月17日(日)に、水戸の県総合福祉会館中研修室で、東京明星大学人文学部福祉実践学科の教授・吉川かおり先生をおよびして、今年の本人参加者(実行委員含む)21人、支援者(支援委員含む)13人、事務局1人、計35人で、第2回本人交流会をしました。

吉川かおり教授と交流をするのは、平成27年11月29日(日)に行った虐待に関する講演と勉強会以来約4年ぶりになります。今回の交流会のテーマは、「これからの暮らし・えらび方」でした。

午前の部では、ABCの3チームに分れて、○×ゲームやサイコロトークをしながら、各チームともいろんな生活などを発表しました。

そのあと、お昼の休憩をはさんで、午後の部では、吉川かおり教授が講演で、「知ろう・使おう・楽しもう・障害者総合支援法のサービスを利用しよう」をお話してくれました。吉川かおり教授の講演を聞いて、分りやすく、いろんなサービスの利用の説明をしてもらい、とてもいい勉強になりました。自分も障害者総合支援法のサービスを利用しようと思っています。

また、これからも各学校の先生方や学校の生徒さん、各大学の教授の人や大学の学生さん方などをおよびして、スポーツレクリエーションやいろんな楽しい交流会の企画を本人実行委員たちと一緒に作ってゆきたいと思っています。



吉川先生を中心に話し合う



体を動かしながらの研修

「石岡特別支援学校保護者」と懇談会開催される

茨城県立石岡特別支援学校において、令和元年12月11日(水)11時40分より懇談会が行われました。育成会から県育成会矢野会長・小森事務局長・石岡市心身障害児者父母の会岩橋会長・石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会嶋田会長・小美玉市心身障がい児者父母の会杉山会長が出席し、保護者側からは7名の方が参加してくださいました。

始めに、矢野会長が県育成会についての説明を行い、つぎに、参加者の自己紹介。そして、参加育成会の各会長が会の活動と特徴の紹介をし、参加保護者の疑問・質問に答える形で1時間の懇談会は、終了しました。

石岡特別支援学校は、現在開校1年目なので、PTAの活動も今後ますます広がっていくことと考えられますので、育成会としてより密接な関係を築いていきたいと思っています。

(小美玉市心身障がい児者父母の会会長 杉山 正美)

第5回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会京都大会

平成31年2月23日(土)～24日(日)国立京都国際会館

全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰

嶋田 みち子(茨城県手をつなぐ育成会 副会長)



ながいの見え方



「幸福と不幸」・「平等と差別」の間で

日立市手をつなぐ親の会 永井 立雄

やまゆり園の事件を引き起こした被告の裁判が始まりました。彼は「重度障害者は家族や社会を不幸にする」という趣旨の発言をしています。「幸福」も「不幸」も極めて内面的なことですし、他人が決めることではありません。このような差別的な考え方は決して許容できるものではありません。

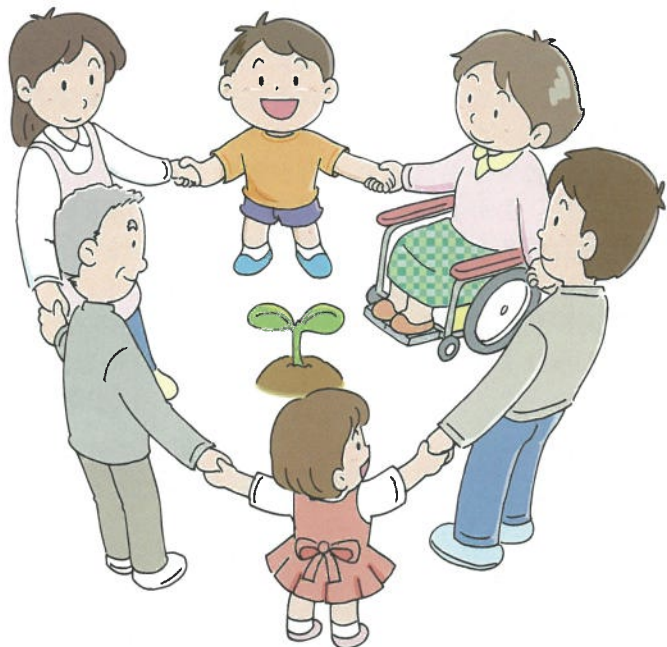
しかし誤解を恐れずに書くと、このような被告の考え方は、この原稿を書いている私も含め人々の心の奥底に（対象はいろいろですが）、幾重にも幾重にも重しをかけられた状態で存在しているのではないのでしょうか。彼はそのことをある意味素直に言葉として表現し、そしてあろうことか行動に移した。なぜこのようなことをしたのか……心がざわつきます。

「障害が無ければ幸せ、あれば不幸」。「お金があれば幸せ、貧乏は不幸」。これは極端にしても、私たちはよく知らないことについては表面的な情報で結構乱暴な判断をしがちです（最近よく見かけるようになった外国人に対しても）。

障害者の問題を考えていこうとすると、結局は「お互いが深く理解すること」が必要なのですが、現実の社会ではお互いの接触・対話が圧倒的に不足しています。つまりお互いをよく知らないのです。「差別」という現象の背景に何があるのかを探るためには、「対話」としておして「理解する努力をすること」、「理解してもらおう努力をすること」が大切なのですが、これはちょっと骨の折れる作業です。「障害者は何を考えてるのかわからない」とか「汚い」とか「手がかかる」という気持ちを封印して、できれば表面的なことを言い合って楽をしたい。心の底の方にたまっている差別意識なんか無いことにしておきたい。あるいは「社会は冷たい」「差別はけしからん」とすべて社会のせいにしておきたい。

しかし、みんなが対話する努力と考えることをやめて楽なことばかりしていると、この社会はとんでもない方向へ向かっていくのかもしれない。

【永井立雄氏は、県育成会では権利擁護委員会に所属しております。これまで長年、特別支援教育に携わって来られ、数カ所の支援学校校長を歴任されました。今後、永井氏には、折々のテーマにそった原稿を続けていただく予定になっております。】



特別支援学校紹介

茨城県内の特別支援学校を順次紹介していきます

県立常陸太田特別支援学校（常陸太田市）

本校は、茨城県北部の常陸太田市内にある、水戸徳川家の墓所である瑞龍山ずいりゅうさん近くに位置しています。旧瑞竜小学校の校舎を改修して平成27年4月に小学部が先行開校し、続いて新校舎の完成にあわせて平成28年4月に、中学部・高等部が開校して全面開校した知的障害特別支援学校です。通学区は、小学部・中学部が常陸太田市、那珂市、旧十王町を除く日立市であり、高等部が大子町と旧御前山村を除く常陸大宮市を加えた地区です。

開校から「一人一人が主人公」をスローガンに掲げ、子どもたちや保護者、教職員一人一人が輝ける学校づくりを目指してきました。

校訓は、「あかるく、しなやかに、たくましく」で、児童生徒が自分の力を最大限に発揮し笑顔で生活できるよう、地域に根ざした教育と個に応じた指導により、自立と社会参加を目指して一人一人の「生きる力」を育てることを教育目標としています。

特色ある教育活動として、小学部で行われている「お仕事体験」があります。ほめられる、認められる経験をとおして、自分の役割を果たす喜びを味わうこと等を目的としています。中学部では、小学部段階で実践した「お仕事体験」を踏まえ、社会の役に立つことにより自分に自信をもつ体験を重ねること等を目的として「職場体験学習」を行っています。高等部では、現場での1～2週間の実習をとおして学校や家庭で身に付けた生活習慣や作業能力を確実なものにし、卒業後の社会生活に対する適応力を高めること等を目的として、「インターンシップ」を行っています。

また、毎日短時間で「算数がんばりタイム・数学チャレンジタイム」、毎週1回図書室を利用する「みんなで読書、読書タイム」も行っています。基礎学力の向上を目指した特色ある教育活動として取り組んでいます。



校舎全景



読書タイム



お仕事体験
(田舎食堂：テーブル拭き)



職場体験学習
(かわねやフェスタ店：品出し)



算数がんばりタイム

令和2年 4月からの行事予定

月	日(曜日)	行事予定
5月	8日(金)	茨城県手をつなぐ育成会理事会
	9日(土)	茨城県障害者スポーツ大会 (フライングディスク)
	24日(日)	〃 (陸上競技・水泳・卓球・ボウリング)
6月	5日(金)	令和2年度総会(県総合福祉会館)
7月	10日(金)	育成会だより 141号発行
9月	13日(日)	茨城県障害者スポーツ大会 (ソフトボール・バレーボール・サッカー・フットベースボール)
	19日(土)	茨城県障害者スポーツ大会 (レクリエーション競技)
9月	26日(土)	〃 (バスケットボール)

月	日(曜日)	行事予定
10月	3日(土)~4日(日)	第7回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会(愛媛県)
	23日(金)	第58回手をつなぐ育成会茨城大会(県総合福祉会館)
	24日(土)	第54回手をつなぐ育成会関東甲信越大会(千葉市)
	24日(土)~26日(月)	第20回全国障害者スポーツ大会(鹿児島)
12月	3日(木)~7日(月)	ナイスハートふれあいフェスティバル 2020
	10日(木)	育成会だより 142号発行
3月	10日(水)	育成会だより 143号発行

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援 ●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術/各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
病気やケガで死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

生活サポート総合補償制度は...
全国で約140,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者の
ための病気やケガの
総合補償制度をご利用いただけます。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時~午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sorpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

いばらき障害者生活サポート協会
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館1階
一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会内
TEL: 029-244-9701 FAX: 029-243-4429
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2019年11月現在の内容です。(D-004328 2021-03)

退任のご挨拶

事務局長 小森 廣之

時が経つのは早いもので、就任したと思ったら、あっという間に5年の月日が流れました。この間、皆様方からは、温かいご支援、ご協力を賜り、お陰様で、大過なく、そして充実した日々を過ごすことができましたことを、心より感謝申し上げます。

新任の挨拶では、「『傾聴』と『寄り添う』ことを常に心に留めながら、皆様の役に立てるようになりたい」と抱負を記しましたが、今振り返ると抱負には遠く及ばず、恥ずかしい限りです。

これからは、賛助会員として、「手をつなぐ育成会」に関わっていきたくてお思いますので、今後とも、親しくお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

5年間ありがとうございました。

編集後記

・新型コロナウイルスによる肺炎が世界中に感染拡大。マスクが不足して、これから花粉症の時期なのに困ります。一刻も早い終息を願うのみ。
・広報委員会に新メンバーが4月に入ります。「育成会だより」次号(141号)にその方の紹介をさせていただきます。新しい風にご期待ください。
(徳永一成)